

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成 23年 4月 1日 ~ 平成 28年 3月 31日
3. 業務の範囲	(1)南姫公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)南姫公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(105%)=利用率(24.3%)÷23.2%(上記(2)適用)	105%以上 5点	年次報告書P128.129(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25年度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:34.1%(平均値比100% =34.1%÷34.0%) 研修室(1):33.3%(平均値比102% =33.3%÷32.8%) 研修室(2):29.8%(平均値比117% =29.8%÷25.4%) 和室(1):17.3%(平均値比99% =17.3%÷17.5%) 和室(2):17.1%(平均値比136% =17.1%÷12.6%) 料理実習室:14.4%(平均値88% =14.4%÷16.4%) 料理実習室の利用率低下は定期利用者が他施設に移動したことによるもの。	5点
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(98%)=利用人数(延べ43,684人)÷44,778人(上記(2)適用)	105%未満~95% 4点	年次報告書P128.129(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H25年度実績)÷(過去2年間実績平均値)) 大ホール:21,732人(平均値比106% =21,732人÷20,597人) 研修室(1):7,476人(平均値比92% =7,476人÷8,095人) 研修室(2):6,662人(平均値比98% =6,662人÷6,777人) 和室(1):3,137人(平均値比82% =3,137人÷3,820人) 和室(2):2,844人(平均値比94% =2,844人÷3,028人) 料理実習室:1,833人(平均値74% =1,833人÷2,462人) 料理実習室の利用人数低下は定期利用者が他施設に移動したことによるもの。	4点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	年次報告書P133~137(文化事業一覧) ①公民館まつり ・南姫公民館文化祭 参加者 1,213人 ②地域意識醸成事業 ・お米作り体験学習(参加者 111人、南姫校区まちづくり市民会議との共催) ・夏祭り(参加者 250人、30区との共催) ・しめ縄づくり(参加者 28人、南姫校区まちづくり市民会議との共催) ・どんど焼き(参加者 700人、南姫校区まちづくり市民会議との共催) ・化石講座(参加者 75人) ・「出土品から知る姫の古墳と古窯」の発刊 ・姫の地史(広報紙で10回シリーズ)ほか	仕様書以上 13点	地域団体との共催事業とともに、「地域を学ぶ」を重点課題に、講座や広報紙による地史の特集、小冊子の発刊など積極的に地域意識醸成に関わる事業を展開することができた。	13点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書P133~137(文化事業一覧) ・スローライフ事業 (自由菜園 菜っぱ会)(ブルーベリーを育てよう)(おいしい黒枝豆を育てよう)(じゃがいもを育てよう)など ・万葉講座 ・書初め大会 ・おはなし広場 ・健康講座など	期待以上 13点	25年度重点課題として「団塊世代の居場所づくりと学びの支援」「健康増進」を掲げ、「万葉講座」「スローライフ」「スローフード」「健康講座」等を実施し、利用者により好評を得た。	13点	
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	年次報告書P130(維持管理業務) 施設内清掃(基準:毎日)を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
	②保守・点検		①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。		年次報告書P130(維持管理業務) ・消防設備保守点検(基準:年2回)・・・年2回実施 ・空調機器設備保守点検(基準:年4回)・・・年5回実施 ・浄化槽管理 (法定点検:年1回、保守点検:年1回) ・・・法定点検年2回、保守点検年4回、清掃年1回実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	③保安・警備		※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点		機械警備業務を委託して実施(毎日)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	④小規模修繕		年次報告書P131(有償修理の内訳) ・有償修理 全20件 総額 793,390 円			適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		特になし			適正(普通) 2点			
		①文書管理		市に準拠した方法で管理している(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	②環境への配慮	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	(1)省エネ対策 ①エアコンの適正温度設定を事務所で行っている。 ②玄関の自動ドアを春と秋は開放して自然の風がロビーに入るようにした。 ③共有スペースでの、電気節減を図るため、定期時間に館内見回りをを行い、電気の消し忘れがないよう点検している。 ④熱中症対策:多治見市保健センターからの熱中症情報が発生時には館内放送を行い周知、湯沸室には塩を用意して水分補給できるようにした。(特に児童・生徒) (2)屋外環境 ①地域の清掃活動への参加(姫川清掃)、公民館前広場の清掃及びゴミ収集場の掃除 ②敷地内での刈草を入れる箱を増設した。刈草は堆肥化して農園で活用 ③毎月1回、公民館周辺清掃奉仕作業を、職員全員で行っている。 ④雨水タンク利用して、花壇の水まきを行っている。	期待以上 3点	適正に実施されている。 光熱水費と削減につなげることができた。(電力減量 5,645kwh、水道減量 27 m ³)	12点	
			③バリアフリー			(1)建物入り口のスロープの路面及び手すりの点検 (2)身障者用の専用駐車場を玄関入口前に設定して、安心して利用できるようにしている。 (3)車いすのメンテナンスを毎月行って、利用される方が安全に使用できるようにしている。 (4)建物に出入りしやすくするために障害物を置かないようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			(1)備品は全て定位置を決めて保管し、利用者が安全でご使用できるようにしている。 (2)備品に不都合がないか毎月点検、メンテナンスを行っている。 (3)安全面に問題が発生する場合は速やかに買換えを行っている。 (4)利用者からのご要望に応えるための備品の更新を的確に行っている。 本年度は、研修室の天板開閉が老朽化により取扱いが困難になっていた机15台全て買換えを行いました。	期待以上 3点	適正に実施されている。 協定書の規定(備品1件20万円)の範囲を超えて、研修室の机を買替えた。 (390,600円)		
			⑤個人情報保護			多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応			事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	特になし	事故なし・対応に不備なし 0点		0点
			3			当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5		当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	(1)同好会利用者に対しては、年2回の全体会議を通じて、要望を聞いて対応している。 (2)館内利用及び講座等については随時アンケートを実施し、反映している。 (3)研修室機の天板開閉レバーの動きが悪く使い勝手が悪かったので、机15台新品を購入した。 (4)同好会活動後に打ち合わせを行う時、ローテーブルでは、書類を書きにくいので通常の高さのテーブルをロビーに設置して欲しいとの要望があったので、ロビーに南姫中学校から頂いたテーブルとベンチを設置した。小学生や利用者の方が集まって話をされるなど、有効に活用している。 (5)洋式トイレに幼児用の便座が欲しい要望があり、スペースの広い身障者トイレに幼児用便座を設置した。 (6)傘を忘れた時に、貸出傘があると助かるとの要望があり、忘れ物傘コーナーを玄関の見やすい場所に変更。突然の雨用に来館者用の貸出傘を用意しました。 (7)椅子の背もたれに寄りかかるとたわんで破損の危険性があったので、カスガイを内側にドリルでうちこみ修理した。 アンケートなど指定管理者が行ったニーズ把握の結果等を記載する。	適正(普通) 7点	さまざまなニーズに迅速にかつ適切に対応している。	7点	
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	なし	苦情なし・適正(普通) 4点		4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	【課題・提案】 魅力的で満足度の高い事業を展開し、来館者の増加を促進する。 (1)スローライフ・スローフード事業 「南姫食文化」と銘打って、地域の特徴を活かした事業として全市域に発信中である。今後は、さらに参加者の満足度を上げるために、下記の施策を展開し団塊世代の居場所をさらに拡大したい。 ①26年度進めているスローフード事業(伝統料理講座)とのジョイント ②栽培理論の学習(農業専門学校と連携等)⇒栽培の楽しみから教える楽しさ ③自由菜園参加者有志による現行の「野菜づくり講座」の全面的指導 ④南姫一里山イベントの掘り起し(子どもの森でのバードウォッチング、キノコ栽培等) (2)文学講座の万葉の次なる展開 親しみやすい万葉講座は、3年目を迎え、ますます好評である。歴史や時代背景を学ぶ南姫の特徴ある文学講座として、次の古典文学へとステージを移していきたい。 (3)団塊世代対応の新規事業創出 スローライフも団塊世代対応としての一事業であるが、それに匹敵する新事業創出が急務である。この世代は、お仕着せでなく、自由に選べる自分に合ったカリキュラムを望んでいる。 自分自身の向上心を刺激し“南姫は面白い”と思わせることを是非提案したい。 スポーツ、音楽、健康等、多様な分野のニーズがあると考えられるので、是非掘り起こしたい。 (4)子ども事業活性化 南姫校区は26年度「親育ち4363たじみプラン」のモデル地区に指定されている。地域団体と連携を率先して進め、内容の充実を図り内外に発信したい。	期待以上 13点	地域性を活かした事業(スローライフ)を開催し、着実に利用者を増やしてきた。今後も現在の事業をさらに充実させ、利用者を増加させる提案を評価するとともに期待するものである。	13点		

5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点
合計		## 【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			合計86点
					<p>全体的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域を学ぶ」「団塊世代の居場所づくりと学びの支援」「健康増進」の三つを重点課題として取組み、参加者数増加など成果をあげることができた。 ・「地域を学ぶ」では地域のことをより深く子どもに伝える事業として小冊子の発行、広報紙に姫の地史を連載した。 ・「団塊世代の居場所づくり」では万葉講座、スローライフ事業を展開した。 ・健康増進講座では、多治見市と連携した講座を開催した。 ・夏祭りへの出店参加と敬老会のアトラクションプロデュースを行い地域行事のコーディネーター役を務めた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。